

# 支出の見直し内容

先月号では、収入(歳入)や受益者負担の見直し項目の主な内容について、お知らせしました。今回は、支出(歳出)の見直し項目から、主な内容について説明します。



## 支出見直しの視点

財政健全化のために、スリムな組織とスリムな行政を作り、今後3カ年程度で単年度収支のバランスをとることを目標に、すべての事務事業を点検し、見直しを進めています。とりわけ、支出については次のような視点で見直しを考えています。

- ①人件費の抑制
- ②道内のほかの都市と比べて高水準のサービスや経費増となっているものを廃止もしくは削減
- ③負担金、補助金や交付金などを抜本的に整理
- ④国や道の制度の基本額より市が上乗せしている事業経費は、制度の基本額に合わせて市の上乗せ分を廃止もしくは削減
- ⑤道路などの建設事業は既に着工、または計画が確定しているものを除き、新規着手を見送りもしくは休止
- ⑥管理経費の徹底した削減
- ⑦既存施設の有効利用を図るとともに、施設の維持補修については全体的な優先順位を決め、計画的に実施

## 人件費の抑制

### ■退職者不補充による職員数の削減

市は、行政改革(平成9年度〜15年度)の取り組みにより、289人の職員を削減しました(全職員数の約12%減)。



今後も組織機構を見直し、スリムで効率的な行政運営に努めながら、職員削減に計画的に取り組みます。

### ■独自の給与削減

職員給料(本俸)についても、平成16年度に3%程度、17年度に5%程度、18年度に7%程度の削減に取り組みます。

### ■職員手当の見直し

これまで職員全員に対し支給されていた調整手当を4月から廃止しま

す(医師を除く)。

さらに、特殊勤務手当や退職手当の見直しについても検討しています。

### ■各種委員会委員の報酬など見直し

各種委員会委員報酬、嘱託員報酬・臨時職員賃金を見直して、削減についても検討しています。

道内他都市と比べて高水準のサービスや経費増となっているものを廃止・削減

### ■各種見舞金などの見直し

道内の他都市の状況も勘案しながら、次のページの表のとおり各種見舞金などの見直しを検討しています。

### ■猫不妊手術助成の廃止

雌猫の不妊手術費の一部として、1件当たり3000円を助成していたものです。道内の人口10万人以上の市(平成15年11月末現在10市)で、同様の助成を行っているのは小樽市のほか1市のみです。

1月号特集に関して  
おわびいたします

広報おたる1月号特集「新選組 永倉新八を追う」において、「永倉新八の墓」として写真を撮影し、掲載しました。しかし、後日このお墓を管理している親族の方から、「史跡とは異なり、現在も先祖代々の墓として受け継がれているものなので、これからもその静穏な状態を保っていきたい」とのご意向が伝えられました。このたびの記事掲載に關しまして、ご親族に対し、多大なご心痛をおかけし、心よりおわび申し上げます。今後は取材および記事の取りまとめにあたり、各方面への確認を一層怠りなく、さらに万全を期してまいります。



〈各種見舞金などの見直し〉

小樽市の各種見舞金など → 見直し内容		道内人口10万人以上の市の状況
<p>■生活保護患者等見舞金</p> <p>3カ月以上長期入院し、生活保護を受給している方や、結核の方に、1500円～5000円を年2回支給。</p>	廃止	北見市が実施
<p>■重度身体障害者見舞金とふれあい見舞金</p> <p>重度身体障害者見舞金～身体障害者(1・2級)の方などに5000円支給。 ふれあい見舞金～世帯主が重度身体障害者で障害基礎年金を受給する世帯や、75歳以上独居老人世帯などに冬季支度金の一部として1500円支給。</p>	新ふれあい見舞金に一本化	帯広市、函館市が類似の制度を実施
<p>■はり・きゅう・マッサージ等施術費助成</p> <p>70歳以上で所得が一定基準以下の方に、1回500円の助成券を6枚交付。</p>	廃止	札幌市、旭川市が実施
<p>■高齢者寝具乾燥事業</p> <p>ホームヘルパー派遣世帯のうち、寝具を干すことが困難な高齢者世帯などに、年1回無料で布団乾燥を実施。</p>	廃止	なし

■ハチ駆除助成の廃止

ハチの駆除を行う場合、その費用の一部として、1件当たり5000円を助成していたものです。道内の人口10万人以上の市で、同様の助成を行っているのは小樽市のほか3市のみです。

■交通災害共済事業の廃止(17年度以降)

年間保険料が480円、小学生の保険料については市が負担するという制度で、昭和43年に開始しました。しかし、年々加入者が減少し、平成14年度の加入率は21・1%という現状にあります。また、道内の人口10

万人以上の市で、同様の事業を実施しているのは小樽市のほか2市のみとなっています。

■消防音楽隊の休止

隊員27人で組織し、パレードなどの演奏活動を行ってきました。道内の人口10万人以上の市で、同様の音楽隊を編成しているのは小樽市のほか4市です。

■負担金、補助金や交付金などを抜本的に整理

■補助金などの抜本の見直し

平成15年度において、原則20%の削減を行いました。が、今後はさらに、次の項目について、見直しを検討しています。

- ・ 歴史的建造物保全等補助金
  - ・ 民生児童委員協議会補助金
  - ・ 私学振興補助金
- そのほか、各種団体運営費や大会開催経費などへの補助金も見直しを検討しています。

■経済施策の見直し

これまで実施してきた各種の支援制度について、一部を廃止して新たな支援制度に組み込むなど、全般的に見直します。

具体的には、次にあげることなど

を行います。

- ・ 福利厚生施設整備事業助成金の廃止
- ・ 雇用促進助成金の廃止
- ・ 工場等設置助成金の縮小
- ・ 商店街近代化施設設置事業助成金の縮小
- ・ 経営支援特別資金の変更
- ・ 商店街グレードアップ資金の変更
- ・ 経営診断や人材育成に関する制度の新設

一方、産・学・官の協働で立ち上げた「地域経済活性化会議」の提案を踏まえた施策の実現に取り組みます。

■事業の再編など

■8連絡所の廃止

住民票の写しなどを交付するため、市内8カ所に設置していた連絡所を3月31日で廃止します。

4月1日からは、市内のコンビニエンスストアで住民票の写しの取り次ぎ交付を行うなど、市民サービスの向上のため、新たなサービスを実施します。

■敬老祝金を廃止し、高齢者祝賀経費を充実

敬老祝金は、昭和46年から実施されてきましたが、高齢化の進展に伴い、事業を見直して祝賀の目的に沿った事業内容の充実を図ります。



〈各種医療助成の見直し〉

【市の単独助成】

■老人医療助成の見直し

65歳～69歳の方で、道の制度に該当しない一定の要件を満たす方を対象に、医療費の本人負担分3割のうち、2割を市の上乗せ施策として助成しています。市では、この上乗せ施策の見直しをしています。

医療費のうち…

助成がない場合	保険者負担 7割	本人負担 3割	
市の上乗せ施策	保険者負担 7割	本人負担 原則1割	市負担 2割

■福祉医療助成(母子家庭等の母の通院、乳幼児3歳・4歳の通院)の見直し

一定の要件を満たす母子家庭等の母の通院および、乳幼児(3歳・4歳)の通院にかかった医療費の本人負担分3割を市の上乗せ施策として助成しています。市では、この上乗せ施策の見直しをしています。

医療費のうち…

助成がない場合	保険者負担 7割	本人負担 3割
市の上乗せ施策	保険者負担 7割	市負担 3割

【道の制度助成】

■福祉医療助成(重度心身障害者・母子家庭等・乳幼児)の見直し

一定の要件を満たす重度心身障害者の入通院や、母子家庭等の母の入院・子の入通院、乳幼児の入通院(入院は6歳未満、通院は3歳未満)にかかる医療費の本人負担分3割(または2割)を道と市で助成しています。このうち、初診時一部負担金については、市の上乗せ施策として助成しています。市では、この上乗せ施策の見直しをしています。

医療費のうち…

助成がない場合	保険者負担 7割 (3歳未満児は8割)	本人 3割 (3歳未満児は2割)	
市の上乗せ施策 (初診時一部負担金助成)	保険者負担 7割 (3歳未満児は8割)	道負担 $\frac{1}{2}$ 初診時一部負担金除く	初診時 一部 負担金
		市負担 $\frac{1}{2}$ 初診時一部負担金除く	

※初診時一部負担金(医科580円、歯科510円、柔道整復270円)

■道における老人医療助成および福祉医療助成の見直し

現在、道では、老人医療助成および福祉医療助成の制度内容の見直しをしています。道が見直した場合は、市も道の制度に合わせて助成を行っていく方針です。



■民間委託の推進  
さくら学園、点字図書館、鯉御殿、室内水泳プールの管理運営の民間への委託を進めます。また、稲穂駐車の民営化についても検討していきます。

事業経費のうち市の上乗せ分を廃止もしくは削減  
左の図のとおり、各種医療助成について、市の単独上乗せ分の廃止も

含めて見直します。  
道においても現在、制度の見直しをしているところであり、道の見直し後は、基本的に道の制度に準じます。

新規・拡大を検討している事業

少子化の進む中、行政に求められているさまざまな市民ニーズ(需要)の中から、新年度以降、次のような項目について新たに実施しようとして検討しています。

- ・ 保育所の定員拡大
- ・ こども発達支援センターの新設
- ・ 次世代育成支援行動計画の策定
- ・ 西部地区への救急自動車の配置
- ・ 放課後児童クラブの定員拡大など

今後、これらの項目についてさらに検討を重ね、新年度予算編成までに決定します。市民の皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

◆小樽市の財政についてのお問い合わせは、財政課 ☎4111 内線 2311234 へどうぞ。

